



令和元年7月19日

各位

上場会社名	J-BBSec
代表者	代表取締役社長 持塚 朗
(コード番号	4398)
問合せ先責任者	管理本部長 滝澤 貴志
(TEL	03-5338-7430)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年9月26日に公表いたしました2019年6月期(2018年7月1日～2019年6月30日)の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和元年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年7月1日～令和元年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,700	155	134	35.72
今回修正予想(B)	3,670	73	59	15.58
増減額(B-A)	△29	△81	△74	
増減率(%)	△0.8	△52.8	△55.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年6月期)	3,346	154	172	49.89

修正の理由

売上高は、当期の受注が堅調に推移したことから、主力サービスのひとつである脆弱性診断サービスが前回予想値比119百万円増の1,096百万円の見込みとなりました。一方で、情報漏えいIT対策サービスは年間契約による受注は計画を大きく上回ったものの、2020年6月期の売上寄与が多く、当期の売上高は前回予想値比37百万円減の1,847百万円の見込みとなりました。また、クレジットカード業界向けコンサルティングの一部案件において、役務進捗の遅れにより想定した売上高が確保できない見込みとなり、セキュリティ監査・コンサルティングサービスの売上高は前回予想値比111百万円減の726百万円の見込みとなりました。その結果、売上高全体では前回予想値比29百万円減の3,670百万円の見込みとなりました。

売上原価は設備投資時期の見直しに伴う減価償却費の減少により前回予想値比13百万円減の見込みですが、新規サービスに向けた調査コンサルティングの委託による支払手数料等の増加により販売費および一般管理費は前回予想値比48百万円増、支払利息及び為替差損により営業外損失は前回予想値比18百万円増の見込みとなりました。その結果、営業利益は120百万円、経常利益は73百万円、当期純利益は59百万円の見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上